



第3号

令和6年6月28日

庄和すずらん幼稚園

## 保育随想

### ★ たった、ひとりの人！

今月の花は、かすみ草です。花言葉は無邪気、幸福、感謝、清らかな心、純潔、親切（白）切なる思い、感激（ピンク）、原産地はコーカサス、イラン北部、アジアです。かすみ草だけの花束ならクリスタルの花瓶に入れるのもおしゃれ、殆どの季節に手に入るの、季節の花と組み合わせて、かすみ草を添える花束は、一層のお祝いに成ることでしょう。

私は小学校6年の後半に成ってカメラを買って貰いました。手にして以来、近所中と言って良いかと思いますが、出会う人の写真を撮って、形にして差し上げるのが喜びでした。駅前の商店にも出かけて行き、後から名付けるのですが、働く姿をテーマにお店で働く大人たちの姿も沢山撮りました。当然、そんな中にも母親の農作業風景も撮りました。お店の人も母親の、その瞬間の姿を撮っていたのですが、果たして内面まで思い巡らしての事だったのではなかったと思います。何とも恥ずかしい思いであります。良く皆さんがカメラに収まってくれたものです。それは記録としては喜ばれていたと思い込んでおりました、「ひろっさんに撮ってもらった写真、今でも仏様のわきに飾ってあるよ！」と随分あとに成って言われたこともありました。この道では、途中から出会った幼稚園の子ども達を撮影してくれた写真屋さんが言われた言葉も残っています。「写真は良い、撮る時につこり、お渡しする時につこり、そして、先日はありがとうございますと、三度につこり出来るんです」とお仕事にも喜びを見付けておりました。その後もカメラは持ち続けで、折に触れてシャッターを押すのです。流石に近年は被写体に成ってくれる人の心情や生活も思い描きながら撮るので、その昔の頃の写真とは、思い入れが幾らかは違っているかと思いますが、相変わらず人なのです。自然の美しい風景を残したり、春夏秋冬の季節の変化を撮り続けて、小さな草花や小動物に目が向かない自分を、一人前の大人に成れていない等と思うのです。やはり、人なんです。冒頭でも花言葉に近頃触れて居ますが、花言葉をご紹介しながら、今月にお誕生日を迎えられた人達にも喜んで貰える一助のメッセージに成ることも願うところなのであります。私のカメラ人生も、ご縁の出来た方々の生き様の姿を残す喜びとして、近頃は携帯電話に変わって来ましたが、皆さんと生きて行くツールなんです！もっと自然や周囲に視野を広げてとは行かないのかと言うテーマですが、今まで通りの課題は課題として人を追いかけるシャッターになるかと思っています。

周囲は、自分の人生の姿を映す鏡なんです。と言われたことがあります。自分の姿を周りの人から教えて貰って居るのですよと言われました。幼稚園や保育園にも人に合える機会が多くあります。一人ひとりの今と向き合いながら、その方の背負っていることを出来るだけ受け止めて対応することは、毎日、幼稚園で生活する子ども達と接する事と同じです。このご縁を大事にして行きましょう。